



みやもと たかし
宮本 隆氏
(1917年～2014年)

「ぼくの心の中にはいつも故郷の友と山と川がありました。」と、宮本隆先生はよく語っておられました。幼少時から木彫りが得意で、布瀬小学校在学中から「木彫りの天才少年」と、隆の名は近隣に鳴り響いていました。

高等小学校卒業後、児島虎次郎氏の甥で彫刻家の児島矩一氏に師事し、その後東京美術学校に進学します。東京美術学校では木彫を専攻し、郷土出身の平柳田中先生などそうそうたる教授陣に学びました。当時の平柳先生は、6代目尾上菊五郎を題材にした「鏡獅子」の制作途中でした。隆は、平柳先生のアトリエの訪問で、大彫刻家



「母の像」

の迫力に圧倒されました。東京美術学校を卒業後、郷里の布瀬に帰り、新制富家中学校の美術教師として赴任し、中学生に美術の楽しさを熱心に教え、慕われました。

その後、岡山大学教育学部特設美術科に招かれ、後進の指導に当たり、1965（昭和40）年には、12年間勤務した岡山大学を退職し、彫刻家に専念することになります。



「山田方谷像」

そして、恩師の平柳先生との約束であった「岡山彫刻会」を設立したのが48歳の時でした。

隆は、96歳で亡くなるまで、「パスタロッツ像」（旧平川小学校）をはじめ、「泳ぎの後」（富家小学校）、「母の像」（東京靖国神社）、「日蓮上人説法像」（岡山高松・最上稲荷）など2千点以上の作品を制作しました。写真の「山田方谷像」（高梁市郷土資料館）は、1977（昭和52）年に制作されています。

今号の表紙

高梁市立高梁東中学校
3年生の皆さん

高梁市立高梁東中学校は、平成8年4月に津川中学校と巨瀬中学校が統合して誕生しました。現在の生徒数は40名と決して多くはありませんが、少人数学級ならではのきめ細かい教育が行われ、部活動や行事は生徒と教職員が工夫しながら行われています。

また創立当初から「あいさつの東中」「人権の東中」「ボランティアの東中」を合言葉に生徒会活動が進められています。地域のひとと生徒があいさつを交わしたり、地域行事に生徒が参加するなど、地域に根付いた取り組みも行われています。



昨年9月高梁市議会議員選挙が行われ、市民の皆様により新しい議員が決まり、議会だよりを編集する委員会のメンバーも新たな体制でスタートしました。

議会だよりは、市民の皆様のご要望やご意見など市民生活に関わる事項などについて質問する一般質問の記述もありますので、関心を持ってお読みいただき、さらなるご意見、ご感想などをお寄せいただけたらと思います。

なお、これまでと同様に本市にゆかりのある、新高梁人名録も議会だよりに掲載していますので、ご覧いただければと思います。

新人議員として、大変な作業ではありますが一生懸命頑張ります。

（藤岡 善行）

3月の定例会スケジュール

2/28	金	本会議（議案の上程）
3/ 6	木	本会議（一般質問）
7	金	本会議（一般質問）
10	月	本会議（一般質問）
12	水	本会議（議案質疑）
13	木	委員会
14	金	委員会
17	月	（委員会予備日）
21	金	本会議（採決）

※3月定例会への請願・陳情の締め切りは2月20日（木）までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報公聴特別委員会
長田	川上	前野	藤岡	宮田	川上	金尾	森和之	
伸彦	雅美	洋行	善行	好夫	博司	恭士		

高梁市議会 YouTube 公式チャンネル
アクセスはこちらから



高梁市議会だより

第61号
2025年2月

高梁市議会だより 2025 2
「意見はこちらまで」■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会



12月定例会

新市長 所信表明に質問集中
12月補正予算を審査

委員会構成



市民文教委員会

委員長 小林 重樹	委員 金尾 恭士
副委員長 川上 博司	委員 藤岡 善行
委員 宮田 公人	委員 松岡 隆雄
委員 伊藤 泰樹	委員 小黒ゆかり



総務産業委員会

委員長 森 和之	委員 前野 洋行
副委員長 平松 久幸	委員 榎 隆宏
委員 倉野 嗣雄	委員 川上 雅美
委員 宮田 好夫	委員 長田 伸彦



議会広報公聴特別委員会

委員長 森 和之	委員 藤岡 善行
副委員長 金尾 恭士	委員 前野 洋行
委員 川上 博司	委員 川上 雅美
委員 宮田 好夫	委員 長田 伸彦



議会運営委員会

委員長 宮田 公人
副委員長 宮田 好夫
委員 川上 博司
委員 倉野 嗣雄
委員 小林 重樹
委員 森 和之

このたびの改選により議会では古参の議員となりましたが、今まで培ってきた経験と知識を生かして、伊藤議長を支えスムーズな議会運営に尽力いたします。

また、新市長は市民との対話が不可欠であると言われていますが、議会といたしましても、議会報告会を各地域で行い、市民との対話から生まれた声を行政に伝えていこうと考えています。議会と執行部は車の両輪に例えられます。しっかりと議論を尽くし市民の負託に応えられる議会を目指します。

副議長を拝命いたしました倉野嗣雄です。



副議長就任のあいさつ

伊藤議長 新体制



議長就任のあいさつ

立春を過ぎて、少しずつ春の息吹が感じられるようになりました。

昨年は元日に石川県を中心とした大規模な地震に始まり、8月には「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたり、政治資金問題で政権も不安定になったりと暗いニュースが多い1年でした。

反面、明るい話題として大谷翔平選手の大活躍であったり、パリ五輪での選手たちの功績をたたえる意味もあって、

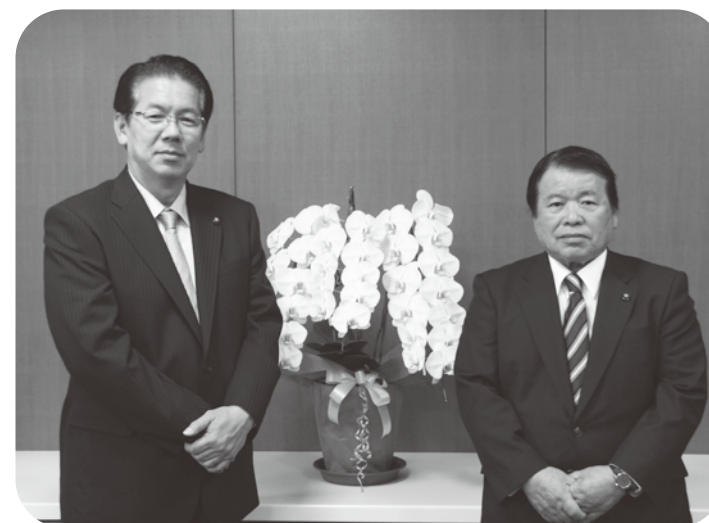
日本漢字能力検定協会が発表した「今年の漢字」が「金」になったのもうなずける話です。

さて高梁市に目を移すと、皆さん思い当たることは色々あるかと思いますが、9月にあった市長および市議会議員選挙を挙げただけの方もおられるのではないのでしょうか。市長が代わり、定数が2名減となった市議会議員においては、年齢が30歳から75歳までの現職9名と新人7名で構成された新しい議会が誕生し、10月30日の臨時議会において議員全員からの信任をいただき、新市発足以降12代目の議長に就任しました。

議長職を拝命してはや4カ月、16名の議員が活動しやすいように、多様な意見を発言しやすいように取り組んでいるところです。その結果として議員各位の能力の向上につなげ、議会総体としてスキルアップを図り、市政のチエック機能を果たし市民の負託に応えられる議会を目指していきたい

と考えております。また、議会活動のより一層の見える化、広報の充実も図っていきたく考えております。

末筆になりますが、議員が地域の課題に真摯に向き合い、問題・課題を明らかにし市民の皆さんと共有し、課題解決を図ることが、市民と議会が共に考える自治を実現していくことにつながると思います。その実現のために16人が一丸となり研鑽してまいりますので、今後より一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



市民文教委員会

議案第88号「高梁市保育士養成奨学金貸付条例を廃止する条例」は、他の奨学金制度があるため廃止するとの提案がありました。保育士の確保という面から奨学金制度は大切なものです。新たな制度を検討されているとのこと、より充実した支援になるようにとの意見がありました。

議案第94号、議案第96号、議案第97号および議案第98号の各補正予算については、委員からこの4つの議案に対して、看護職や介護職など専門職の人材不足に伴う職員の業務負担増、超過勤務手当の増額は、各施設だけの問題ではないので、執行部としてこの大きな課題に真摯に向き合っ



て、問題解決に当たるといって、要望するという意見がありました。

議案第105号および議案第106号の「工事請負変更契約の締結について」は、高梁こども園建設工事の電気設備工事および機械設備工事におけるインフレスライド条項の適用に関わるものです。執行部から、インフレスライド条項の概要ならびに具体的な計算式について補足説明がありました。

委員からは、請求の仕組み、積算単価の根拠、工期の延期に伴うインフレスライド条項の影響の有無、出来高の状況など詳細にわたり質疑がなされました。

インフレスライド条項とは？

建設工事において、急激な物価上昇が起き、契約金額が著しく不適当となったときに契約金額の変更を請求できる制度です。公共工事だけに認められる制度で、高梁市では工事請負契約書第27条第6項に規定しています。

趣 旨	急激な価格水準の変動に対応する措置
対 象 工 事	契約締結した全ての工事で工期が2ヵ月以上残っているもの
変 更 対 象	賃金水準の変更がなされた日以降の残工事量に対する資材、労務単価など
受注者の負担	変動前の残工事費の1%



Q. 労務単価の値上がりは、誰が判断するの？
A. 国が調査・判断をして、公共工事設計労務単価の改定を行います。



Q. 計算の仕方はどうするの？
A. 計算式：S＝②－①－（①×1%）
S（増額スライド額） ①（変動前の残工事費） ②（変動後の残工事費）
【例】変動前の残工事費が6000万円の工事が変動後に6800万円になるとすると
6800万円－6000万円－（6000万円×1%）
＝800万円－60万円＝740万円
→増額スライド額は740万円になる。

令和6年度12月補正予算を審議



高梁こども園

新消防庁舎

工事請負変更契約の締結について激論

令和6年第6回高梁市定例会では、12月補正予算を含む市長提出の議案18件のうち、1件を承認とし、残り17件を原案のとおり可決しました。併せて、追加提出された議案14件を原案のとおり可決しました。また、議員発議の乙議案1件は賛否が分かれていましたが、原案のとおり可決しました。

総務産業委員会

議案第90号「工事請負変更契約の締結について」では、新消防庁舎建設工事の電気設備工事におけるインフレスライド条項の適用に関して、執行部から概要ならびに具体的な計算式などの補足説明がありました。

委員からは請求の仕組み、積算単価の根拠、出来高の確認状況、予算額の推移、建築主体工事および機械設備工事に係る請求の有無など詳細にわたり質疑がなされ、公共工事におけるインフレスライド条項の適用は工事請負契約書によるものだが、公共工事だけに適用される条項であり、市民感覚では理解し難く、増額される予算は市民の血税であることを肝に銘じて、執行に当たっていただきたいといった意見がありました。



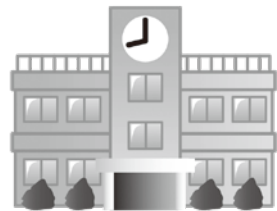
▲完成間近の新消防庁舎

議案第104号「工事請負変更契約の締結について」は、新消防庁舎建設工事の建築主体工事における手すり設置の取り止めに関するものです。

審査において委員からは、手すり設置の取り止めは妥当である。本来の目的に沿って、安くていいものを作ることに徹していただきたいといった意見がありました。

全員協議会

高梁市立学校園適正配置計画について



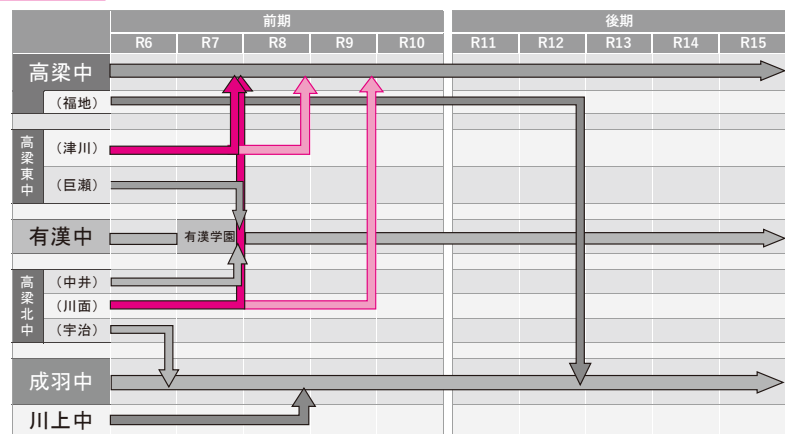
令和6年11月14日に全員協議会が開かれ、当初の予定より半年遅れて、高梁市立学校園適正配置計画が示されました。

この計画は、少子化に伴い将来にわたって義務教育の教育水準の維持・向上を図り、子どもたち一人一人の「生きる力」を育てることができ、より良い教育環境を実現することを目的としています。小・中学校の統廃合に関連する10年間の計画となっており、適正配置を進めていく上で、学びのための一定以上の集団規模の確保、教職員配置の安定化を重要な視点として掲げています。

高梁市立学校園適正配置計画 実施計画(めやす)

【広報たかはし(令和7年1月号)から】

中学校

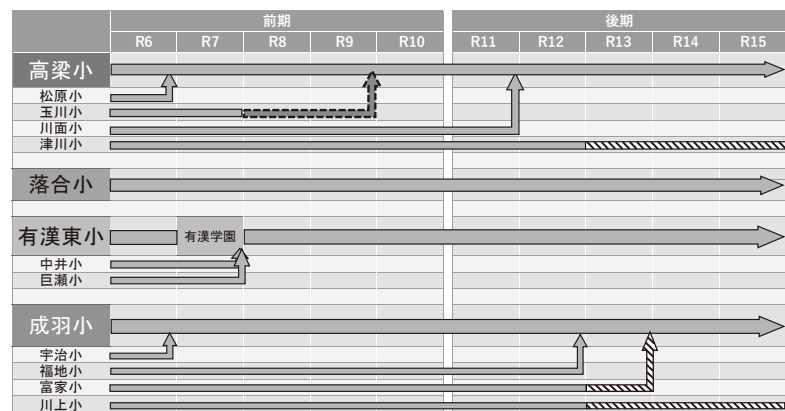


※高梁東中学校・高梁北中学校は、既に中学校区内の小学校で学校再編準備委員会が設置され、令和5年12月に検討委員会から提出された報告書を基に協議が行われているため、実施計画(めやす)の時期を次のとおり示しています。

現状の生徒数による予定時期

令和5年12月報告書時点での予定時期

小学校



※玉川小学校は、2年連続で小規模特認校制度利用の児童がない場合を想定しています。
※令和13年以降は、令和12年の入学人数と人数が入学したと仮定し推計しており、再編時期は変動の可能性があるため、津川小学校・川上小学校・富家小学校は斜線としています。

※実施計画は、児童生徒・学級数の推計を基にしたものです。再編時期についてはあくまでめやすであり、状況により変動する可能性があります。

議会からの指摘

1. スクールバスの現実性と課題

通学時間を概ね1時間以内としているが、現実的なのか。運転手は安定的に確保できるのか。



2. 地域の声を反映する計画見直し

令和10年度に計画の見直しが予定されているが、どれだけ地域の声が反映されるのか。



3. 保護者・地域との合意形成の道筋

計画では、保護者や地域との十分な合意形成を行うとあるが、具体的なプロセスは今後提示されるのか。



平松久幸 議員

上程された議案第83号から議案第114号までは委員長報告を了とし、乙議案第3号は反対の立場から討論する。

財政が厳しい高梁市の行財政改革を訴えていくのなら、我々議員報酬こそ「身を切る改革」が必要だと思われる。

議員自身が「ぬるま湯」に漬かっているのでは、高梁市は良くならなと考える。「行財政改革」を唱えるのなら、まずは議員自ら「身を切る改革」が必要だ。

宮田 好夫 議員

議案第101号、議案第102号および乙議案第3号を含め全ての議案に賛成する。公務員の給与や賞与は、人事院が民間と比較して勧告している。労働権が制限されている公務職場は、この勧告を守るのが当然であり賛成する。

また特別職や議員についても人事院勧告に準拠しての引き上げなので

問題ないと思う。しかし、本市の財政が厳しいという状況は理解する。今後示されるであろう行財政改革には、議会として真摯に議論する必要がある。

金尾 恭士 議員

議案第102号、乙議案第3号に反対するものである。

市長は「聖域なく精査していく」と表明された。今こそ市民生活、地域経済の疲弊を鑑みると、増額は行つてはならないと考える。まず市長の率先垂範が求められる。

乙議案第3号についても同様の理由で反対する。

農業は本市の基幹産業である。今後も高温は続く。体系的な農業者への支援を望むものである。

最後に、石田市長には、市民の生活を第一に考えた大胆かつ細心な市政運営をお願いする。

藤岡 善行 議員

議案第102号、乙議案第3号について反対の立場から討論する。

現在、市民の皆さんは大変困窮して生活が苦しい状況にある。たとえば人事院の勧告に準じたとはいえ、給与改定を行うことには疑問を感じる。

小林 重樹 議員

選挙後、新体制で市政、議会がスタートした。このような時期に改定するのはいかなるものかと考える。

乙議案第3号については、長年据え置かれてきた議員の期末手当を適正水準に戻すものである。報酬の改定ではなく期末手当の比率を変更する提案であり、人事院勧告や近隣自治体の動向を踏まえている。若い世代が議会へ参加しやすい環境づくりや、議員が地域で消費を行うことで経済を活性化させる狙いもある。

地方議員の成り手不足や地域経済の疲弊を踏まえれば、至極妥当な提案であると考えられる。過去の引き下げ分を本来の水準に戻すことは妥当と考えられ、全会一致で可決すべきである。

12月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席

議案番号	件 名	榎	前野	川上雅	藤岡	小黒	長田	松岡	平松	金尾	森	宮田好	小林	倉野	川上博	宮田公
議案第102号	高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例	○	欠	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
乙議案第3号	高梁市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	欠	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

平松 市長の言う「市民の幸せが実感できるまち」とは何か。
市長 暮らしやすさ、体と心の健康状態、社会とのつながりは大切だと感じている。高梁市に住んで良かったという幸福感を高めていかなければならない。

平松 市長の言う「市民の幸せが実感できるまち」とは何か。
市長 暮らしやすさ、体と心の健康状態、社会とのつながりは大切だと感じている。高梁市に住んで良かったという幸福感を高めていかなければならない。

倉野 イノシシについて、駆除の個体数と被害額はいくらか。
産業経済部長 令和4年度は2946頭で、令和5年度は1740頭である。被害額は約770万円、駆除費は約3300万円であり、防護柵設置に関しては約790万円を支払っている。
倉野 駆除後の個体の処理はどのようにしているか。
産業経済部長 各猟友会に駆除と処理をお願いしている。基本的には埋却であるが、場所が限定されるので限界はあると思う。
倉野 今後駆除数も増えると思うが、どう対応するのか。

倉野 免許返納者を含め主に高齢者は、公共交通を利用せざるを得ないため、金銭的負担が重くなる。真庭市は一律200円で運行しているが、高梁市ではどうするのか。
市民生活部長 現在、公共交通計画の策定を進めており、利便性向上の施策を検討している。

市長の政治姿勢について

高梁こども園について

平松 久幸 議員



増加する鳥獣個体の処理をどうするのか

鳥獣対策について

倉野 嗣雄 議員



12月5日



平松 久幸

「市長の政治姿勢について」
 「行財政改革の取り組みについて」
 「学校給食について」
 「高梁認定こども園について」
 「成羽病院の経営について」



倉野 嗣雄

「鳥獣対策について」
 「高齢者の移動手段について」
 「地域支援について」



藤岡 善行

「市長の市政運営について」
 「国保税及び後期高齢者医療保険料について」
 「学校園の給食費無償化について」
 「補聴器購入補助制度について」
 「介護報酬引き下げについて」
 「農業施策について」



小黒 ゆかり

「学童保育について」
 「横見第3住宅について」
 「人口減少対策について」



宮田 好夫

「石田市政発足に当たって」
 「市長の公約について」
 「市民との対話について」

高梁市議会
 YouTube公式チャンネル
 配信中！



高梁市議会YouTubeチャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。

12月6日



森 和之

「本市における桃の栽培について」
 「買物弱者について」
 「高梁認定こども園について」
 「鳥獣被害について」
 「石田市政について」



榎 隆宏

「行政機構について」
 「人口減少対策について」



松岡 隆雄

「学校教育に関することについて」
 「産業の発展に関することについて」
 「県道・市道に関することについて」
 「市民生活に関することについて」



小林 重樹

「石田市長4つの軸について」
 「高梁市立学校園適正配置計画(案)について」

12月9日



長田 伸彦

「高梁市医療計画について」
 「高梁市の医療介護連携におけるICT活用状況について」



川上 雅美

「救急車の患者搬送について」
 「ラ・フォーレ吹屋と周辺施設について」



川上 博司

「マイナ保険証の普及と利用促進について」
 「GIGAスクール端末の更新について」



金尾 恭士

「市長の今後の市政運営について」
 「農林業施策について」
 「教育施策について」
 「学童保育について」
 「選挙事務について」
 「ふるさと納税について」
 「地域公共交通について」

学校園の給食費を無償化にすべき



本市は給食費無償化の計画はあるのか

藤岡 給食は心も体も豊かに成長、発達するために大切なものである。学校給食法でも給食は教育の一環であると規定され、憲法でも義務教育は無償と明記されているが、どうするのか。

教育長 完全無償化すると、毎年1億3千万円必要で財源がない。現在、保護者負担が増大しないように材料費の補助をしている。

藤岡 県下の市町村では、小・中とも完全無償化が6自治体、一部無償化が6自治体ある。高梁市でも公平で無駄をなくしていければ、財源確保できるのではないかと。

教育長 本市全体で行財政改革がないよう努めてほしい。

藤岡 本年度の介護報酬の改定では、一部引き上げがあったが、介護事業所の運営は大変な状況にある。特に訪問介護事業所のみが、さらに報酬を下げられている。本市の対応は。



介護事業所への対応が急務では

藤岡 本年度の介護報酬の改定では、一部引き上げがあったが、介護事業所の運営は大変な状況にある。特に訪問介護事業所のみが、さらに報酬を下げられている。本市の対応は。

藤岡 善行 議員



人口減少対策に若い世代が活気づくような取り組みを



学童保育について

小黒 民間委託される最大の利点は人材不足の解消だと受け取っているが、解消されるのか。

健康福祉部長 現在、業者が求人をしており5人以上の応募があったと聞いている。今後退職などで人員が不足する場合も、迅速な補充に努めていただけことを期待している。



横見第3住宅について

小黒 入居条件の緩和を考えてはどうか。

土木部長 公営住宅法によって定められている住宅のため、条件から外れると修繕や更新の際に国の補助が受けられない。

小黒 空室があれば税収が減少し、使用されないままだと劣化を懸念するが。

土木部長 横見第1・第2住宅に移住定住促進のために入居要件を緩和した地域住宅があり、具体的な相談、要望にルールを踏まえた上で対応したい。



人口減少対策について

小黒 10代20代の若者が利用でき、働きたいと思えるような店舗が増えれば市内が活気づくのではないかと。

産業経済部長 本市が抱える課題解決につながる業種の出店には、令和6年度より「よつこそ高梁特定業種出店支援事業補助金」という制度を創設している。

小黒 ゆかり 議員



行財政改革をどう進めるのか



給食費の無償化について

宮田 給食費無償化は来年度から実施するのか。

市長 無償化には1億3千万円必要だが、手当てをする財源が見つからない。

宮田 給食費無償化の声は多いが、どうするのか。

市長 国や県の動向、本市の行財政改革の推移を見守る。なお、物価上昇部分は市が負担して、保護者の負担は据え置く。



行財政改革について

宮田 どのように行財政改革を進めるのか。
 市長 行財政改革の目的は、市民生活をしっかりと守っていくこと。

令和6年度学校給食費(全体)

費目	金額
人件費	173,000千円
給食材料費	137,000千円
光熱水費	26,000千円
配送料・維持管理費	68,000千円
工事請負費	11,000千円
備品購入費	11,000千円
その他	15,000千円
合計	441,000千円

この内、保護者・職員負担分(園児含まず) 107,783千円

宮田 好夫 議員



桃の糖度センサー設置を望む



石田市長について

森 担当課の課長の交代により、要望などの引き継ぎに不備を感じている。改善を望むのだがどうか。

市長 市民からも声をいただいている。行財政改革、職員の意識改革の一環であると考えている。

森 この8年間、市街地における公園の整備を強く要望してきた。市長の考えを聞きたい。

市長 高梁こども園整備による跡地を公園として活用できないか検討していく。また現在ある都市公園を芝生化や日陰を増やすなど見直しをしていく。



本市における桃の栽培について

森 桃の栽培は難しい。栽培技術の継承を含めて桃農家を守ることが必要ではないか。

産業経済部長 高梁市を代表する作物の一つとして生産量の減少を抑えるため、技術的な継承や農地の確保をピーチスクールなどで行っていききたい。

森 桃農家から集荷場に桃の糖度センサー設置を望む声が多いのだが、市の支援はどうか。
 産業経済部長 市が単独で補助するのは難しい。生産者数を減らさないようにピーチスクールなどで生産量の増加を図っていききたい。

森 和之 議員



移住・定住、地域活性化のための職員を 地域局へ配置すべき



行政機構について

榎 課や係が多すぎて複雑である。整理し、市民に分かりやすくすべきではないか。

市長 市民に分かりやすく、サービスを提供できる組織体制にしなければならぬと考えている。

榎 政策監の必要性はあるのか。

市長 必要性について検証を行い、令和7年4月の組織機構の見直しに向けて検討を進めていきたい。

榎 地域局にまちづくり専門の職員がいないため、地域のまちづくりが衰退しているのではないかと。今後の地域局の役割をどう考えているのか。



人口減少対策について

市長 地域局は、まちづくりの機能を大きく担っている。集落支援員制度を活用して、いかに課題であると考えている。

榎 地域局にも、移住・定住やまちづくりを専門で担当する職員が絶対に必要ではないか。

市長 地域のまちづくりや空き家対策が停滞しないような人員配置を考えなければならぬ。集落支援員制度や地域運営組織など、さまざまな在り方を検討した上で、地域が衰退しないよう、また定住推進が進むように取り組んでいる。



榎 隆宏 議員

市長の公約「4つの軸」とは何か



市長が言う「4つの軸」について

小林 「市民の声に真摯に耳を傾ける」とは。

市長 まちづくり懇談会など市民の意見に耳を傾け、市長自ら地域に出向き、市政運営に取り入れる。

小林 「行政組織、職員の意識改革に取り組み、市民サービスを向上させる」とは。

市長 人口減少、少子高齢化、財政難の時代で予測困難なこれからの時代に対応するため、組織改革や仕事のやり方を見直し、市民のために喜んで働ける職場となるよう、意識改革を一層進めていく。

小林 「財政を見直し、持続可能な市民サービスを提供する」とは。

市長 厳しい財政状況であることから、聖域なくさまざまなものを見直していき、持続可能な市政運営に努める。

小林 「市民が幸せを実感できるまちをつくる」とは。

市長 計画を立てている中でさまざまな指標がある。この達成も含め市民の皆様が幸せを実感し、高梁市に住んで良かったと思われるように、市民の目線で市政を見直していく。



小林 重樹 議員

守るより攻める！

高梁市の学校教育と財政力アップ



県立高校再編整備について

松岡 学校を残すため、1クラス30人制にすることを市としてどう考えるか。

教育長 科の数を減らさないためにも、30人のクラスを作ることを県に強く要望していきたい。足りない教員数については、県独自で確保するなり、場合によっては市も協力しながらでも、学校が運営できるような手だてを県でしっかりとやってほしいと考えている。



企業誘致と農業における6次産業化について

松岡 高梁市における過去10年間

の企業誘致の現状と基幹産業である農業の6次産業化を市としてどう考えるか。

産業経済部長 過去10年間では1社のみ。企業誘致をするためには、適地の選定や周辺の環境整備などの多くの条件をクリアしなければならぬ。農業の6次産業化について、高梁市のブドウやトマトは、製品の価値として高い位置にあり、ブランド化されている。今のところ加工するよりは、そのものの価値をPRしていきたい。



松岡 隆雄 議員

高梁市での持続可能な 医療・介護のために



「高梁市医療計画」について

長田 医療計画を作った経緯や具体的効果を問う。

健康福祉部長 課題を可視化することによって、持続可能な地域医療体制の構築につなげる。市独自で地域医療に対する施策を打ち出す必要があった。

長田 多職種連携推進のための「交流」を目的とした施策が必要ではないか。

市長 多職種の連携や情報交換も必要なので、カフェ形式の研修に取り組んでいきたい。



ICTの自立運用について

長田 高梁市は医療・介護施設との連絡ツールのため、LINE W

長田 伸彦 議員



ORKSの運用を業者に委託している。市で自立運用はできないか。

健康福祉部長 担当課にICTが得意な職員を育成しても、人事異動もあり継続性に課題がある。自立運用をするに相当な労力が必要になるため、現時点では委託の方が効率的と考える。

長田 市にはデジタルの担当課やプロ人材のアドバイザー、協力隊員がいる。このツールはIT知識がなくとも扱える仕様であることから自立運用は可能だと考えるが、市長に見解を問う。

市長 ご提案いただいたことは検討していく。DXを推進することで事務作業も見直し、人がすべきところに職員を充てる行政に変えていかなければならないと考えている。



6次産業化

地元農産物を地元で加工し販売する。

金尾 高梁中学校グラウンド下の市有地の雑木の伐採が令和6年度7～9月に行われた。その財源は、**教育次長** 令和6年度は森林環境譲与税から3069万円を支出。成羽小・中で260万円が木製品作成、森林の整備として2809万円を計上し、高梁中敷地内の雑木林を整備。枯れ枝の落下、樹木の電線への接触、鳥のフン害があり、児童生徒・通行車両の安全や近隣住民の衛生を考慮した。**金尾** 森林環境譲与税は高梁市全体に使うべきである。高梁市の1年分を使ったことになる。虎の子の森づくり基金を自由に使っている。「不適切にもほどがある」と思う。

森と学ぼうSDGsプロジェクト事業について

森林環境譲与税の使用、不適切にもほどがある！

金尾 恭士 議員
金尾 特にトマトは桃太郎ワッシャーから桃太郎シルクに品種変更があったが、高温による裂果・空洞果が多くあった。市はJA、県との情報交換をしたのか。**産業経済部長** 三者で協議し、次年度に向けて話し合っていく。**金尾** 被害に遭われた農家に補助はできないか。**産業経済部長** 損害の出た部分に手当てをしていくことは困難。今後は、技術指導やきめ細かい営農指導などの情報が、各農家へ行き渡るようにする。令和6年度の有漢の雹被害のように、予備費の対応は状況を確認しながら、柔軟に対応していきたい。

今年の農作物（トマト・ブドウ・桃）の高温障害は自然災害



道路狭小地域の救急搬送の安全について

軽救急車の配備も必要では

川上 救急車が大型化する中、市内隅々まで行けるのか。困難な場所はどういった対応をしているのか。**消防長** 私道については狭くて困難なところもある。市道については大体のところは進入可能である。患者搬送のためリターンすることも考慮しながら、進入できるところまで進入し、必要な資機材をストレッチャーなどに乗せて現場に向かっている。**川上** 通常の救急車と比べ車体が小さく、狭い道でも走行できる軽車両の救急車もあるが、配備したかどうか。

消防長 狭い道路はあるが、他の車両の追加や隊員を増やすことで対応できているので、今のところ検討していない。**川上** 患者搬送は一刻を争う。1秒でも早くスムーズな搬送ができるよう、今後配備に向け検討し救急体制の充実を図っていただきたい。また、救急車が入りづらい時の対応や隣接する他市からの支援協力体制があることを市民に伝わるよう、周知をしていただきたい。



写真提供：株式会社ライズ

川上 雅美 議員



マイナ保険証の利用を推進すべきではないか

マイナ保険証の普及と利用促進について

川上 12月2日から従来の健康保険証は新規発行されなくなり、その後はマイナンバーカードでの保険証利用を基本とするマイナ保険証へ移行した。重要なことは2点。12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効であること。12月2日以降、保険証利用登録がされたマイナンバーカードを保有していない方には、発行済み保険証の有効期限が切れる前に、申請していただくことなく「資格確認書」が交付され、引き続き医療を受けることができ、最長5年間使えること。マイナ保険証の利用促進を強力に周知すべきではないか。

医療機関の受診時に使えるカード類

マイナ保険証	マイナンバーカードに健康保険証の機能を搭載。マイナカードを取得した上で利用登録すると利用できる
健康保険証	12月2日から新規発行停止。発行済み保険証を利用できる期限は加入している保険で異なり、最長1年
資格確認書	マイナ保険証を持っていない人へ現行保険証の有効期限までに、申請不要で順次交付され、保険証の代わりに使える。有効期間は最長5年

健康福祉部長 9月時点で国民健康保険のマイナ保険証の利用率は約27%で全国平均を上回っていた。今後も利用促進につながるよう周知していきたい。

川上 博司 議員



本市では、他自治体議会からの行政視察を受け入れています。施策の説明については担当課が行いますが、議長も可能な限り同席し質疑に対応させていただいています。

令和6年10月から12月まで8つの自治体議会が視察に来られました。中でも多い視察内容は、高梁市図書館を含む複合施設についてでした。

本市の取り組みは他自治体議会からも注目されています



日付	市町村議会	視察内容
10/ 7	福岡県芦屋町議会	子育て支援の取り組みについて
10/16	三重県鈴鹿市議会	高梁市図書館を含む複合施設について
10/17	福島県田村市議会	高梁市図書館を含む複合施設について 旧吹屋小学校の改修事業について
10/21	滋賀県長浜市議会	豪雨災害を教訓とした防災対策について
11/ 6	山口県萩市議会	部活動地域移行の取り組みについて
11/ 7	青森県平川市議会	グリーンスローモビリティの導入と活用について
11/ 8	埼玉県志木市議会	グリーンスローモビリティの活用について
11/14	宮崎県日向市議会	複合図書館の整備・運営について